

平成 19 年 5 月 7 日

各 位

東京都文京区白山五丁目 1 番 3 号

株式会社ビーマップ

代表取締役社長 杉野 文則

(大証ヘラクレス：4316)

問合せ先：経営企画部長 大谷 英也

(電話 03-5842-5033)

業績予想の修正に関するお知らせ

昨今の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 11 月 9 日に公表いたしました平成 19 年 3 月期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1 連結業績予想の修正 (単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	1,396	35	△303
今回修正予想 (B)	960	△104	△364
増減額 (B - A)	△436	△139	△61
増減率 (%)	△31.2	-	-
(ご参考) 前期実績(平成18年3月期)	731	△116	△431

2 個別業績予想の修正 (単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	1,093	28	△303
今回修正予想 (B)	805	10	△243
増減額 (B - A)	△288	△18	60
増減率 (%)	△26.3	△64.2	-
(ご参考) 前期実績(平成18年3月期)	661	△101	△428

3 修正理由

(1) 連結

グループ各社の事業の進捗状況に連結調整勘定償却および次項に述べる個別の状況を加えた連結の業績については、売上 960 百万円（予定比△436 百万円）、経常損失 104 百万円（予定比△139 百万円）、純損失 364 百万円（予定比△61 百万円）となる見込みであります。各社の状況は以下のとおりであります。

連結子法人のうち、株式会社 **Be plus** については、ほぼ当初予定通り進捗いたしました。株式会社フレームワークスタジオについては、第3四半期までの先行投資に見合う収益の確保が達成できず、第4四半期以降改善しておりますが回復には至らず営業損失を計上しております。期中に連結化したフォーマイスターズシステムコンサルティング株式会社については、大型案件の中断等により連結期間において営業損失を計上しております。また、株式会社インフォエックスは大手銀行向けなど予定を上回り進捗いたしました。連結期間が短く、規模の面においても連結全体への影響は軽微であります。

持分法適用会社である株式会社エム・データについては、事業の立ち上げが遅れており、営業損失を計上いたしました。

(2) 個別

従来より取り組んできた提案営業力の強化などの効果が徐々に始まり、営業利益・経常利益を計上する見込みであります。株式評価損などの特別損失等を加えると純損失を計上する見込みであります。事業分野別の状況は以下のとおりであります。

モバイル事業分野

交通関連事業につきましては、横展開を含む事業拡張が進展せずほぼ前年並みの実績となり予定を下回りました。無線LAN関連事業につきましては、前期からの継続案件を含め当初予定を上回っております。位置情報関連事業につきましては、新たにヒューレット・パッカート社へのライセンス提供を開始したもののライセンス商談が相次いで長期化し今期予定していた業績には及ばない状況であります。

ソリューション事業分野

モニタリング倶楽部につきましては、上期に遅れた大型案件のリカバリに注力いたしましたが全体としては当初予定を下回りました。昨年5月より開始したメタ・データ事業につきましては、事業の立ち上がりが遅れ、第4四半期ようやく進展をみたものの本格的な立ち上がりは今期（平成20年3月期）に持ち越しとなりました。Webモバイルについては、上期に利益率が低迷し全体としても当初予定を下回りました。

以上の結果、個別の業績については、売上 805 百万円（予定比△288 百万円）、経常利益 10 百万円（予定比△18 百万円）、純損失 243 百万円（予定比+60 百万円）となる見込みであります。

4 今後の対応

本日発表いたしました「経営改革の取り組み等に関するお知らせ」に記載のとおり、グループ全体をととした経営改革を行い、連結を含めた黒字体質の確立・強化に取り組む予定です。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。現在、決算の取り纏めならびに監査法人による監査を行っているところであり、実際の業績は上記予想数値とは異なる可能性があります。

(注) 平成19年3月期の業績発表は平成19年5月14日を予定しております。

以 上